

**おがさわら人とペットと野生動物が共存する島づくり協議会
令和2年度 事業報告**

(Ⅰ) 外来種による被害や人為的影響等を受ける野生動物の保護に関すること

(1) 小笠原希少鳥獣等に関する連絡調整部会の開催の状況【環境省】

○第1回(7月17日)

- ・本部会設置の経緯と目的について
- ・母島ねぐら域でのオガサワラオオコウモリの保全について

○第2回(10月15日)

- ・希少鳥獣の傷病発生時の協力体制の確認
- ・『小笠原諸島における傷病鳥獣救護の考え方(仮称)』について
- ・鳥インフルエンザの対応について

※この他、国指定小笠原群島鳥獣保護区内における傷病鳥獣救護の取組に関する課題を解決するため、環境省、小笠原支庁産業課、IBO、小笠原村環境課で、数度の打合せ会議を開催

(2) 希少鳥獣等の保護の状況【小笠原支庁】

保護した野生鳥獣 107 個体のうち希少鳥獣は 20 個体。そのうち野生復帰は 16 個体、動物園搬送は 4 個体。詳細は次のとおり。

○アカガシラカラスバト：

保護 4 羽(野生復帰：2 羽、動物園搬送：2 羽)

○オガサワラオオコウモリ

保護 11 頭(野生復帰：10 頭、動物園搬送：1 頭)

○セグロミズナギドリ

保護 2 羽(野生復帰 2 羽)

○メグロ

保護 1 羽(野生復帰 1 羽)

○オガサワラノスリ

保護 1 羽(野生復帰：1 羽)

○アカオネツタイチョウ：

保護 1 羽(動物園搬送：1 羽)

※治療を受けた個体は、別紙参照【動物対処室】。

(3) 事故未然防止及び事故再発防止対策

○交通事故防止

- ・事故防止看板の設置（夜明道路沿い；8/17-9/30、11/18-1/8、2/15-4/9）【支庁産業課】

○バードストライク

- ・バードセイバーの配付（6枚）【環境省】
- ・宮之浜分譲地でのフェンス衝突防止対策で設置していた老朽化したポスター交換【環境省】

(4) 普及啓発の実施

○村民だより

- ・身近になってきたアカボツポとコウモリとの付き合い方（2月）【小笠原村】

(5) その他情報共有等

○小笠原諸島における傷病鳥獣救護の考え方（仮称）について検討中【環境省】

○父島集落内でのアカガシラカラスバトの何者かによる捕食事例【環境省】

6月20日父島集落内で左翼から胴体左半分が損傷したアカガシラカラスバト1羽の死亡個体を回収。国立環境研究所に死亡要因の推定を依頼。イヌの遺伝子が検出されたが、イヌによる捕食事故かどうかは不明。

『イヌを放し飼いにしない』『ネコの室内飼養』などを、飼い主への郵送による案内を通じて周知し、その後同様の事例は発生していない。

○玉川砂防ダム周辺林分のオガサワラオオコウモリねぐらへの配慮（東京都、環境省、小笠原村教育委員会、IBO）

玉川ダム下流部のオガサワラオオコウモリ集団ねぐら前の河川の草刈りにあたって、必要なねぐらへの配慮について、東京都、環境省、小笠原村教育委員会、IBOなどで協議が行われ、ねぐら直下部分の手刈り、それ以外では機械刈り等の配慮内容が定められた。現場作業は、環境省、東京都、IBOによる事前視察を経た上で、IBO専門家及び東京都レンジャーの立ち会いの上で実行された。これらの課題及び経緯について、希少連関係機関で情報共有された。

(6) 今後の予定

必要に応じ、部会を開催する。

(Ⅱ) ペット由来の外来種である飼い主のいないネコ対策に関すること

(1) 小笠原ネコに関する連絡調整部会の開催の状況【IB0】

○第1回(9月23日)

- ・母島集落内のネコ捕獲について

○第2回 島内関係機関(12月9日)

- ・母島ネコ捕獲の課題の整理について

○第3回 東京都獣医師会との意見交換(12月15日)

- ・ネコ対策と保全対象の状況
- ・母島ネコ捕獲の課題の整理について

○第4回(3月31日)

- ・ネコ対策と保全対象の状況に対する専門家による外部評価

○関係者によるWG・打合せ等

- ・5月GW明けからの当面のネコ対策について
新型コロナ＋保護ネコ続出＋要治療ネコ多頭に伴う対応
(5/7 環境省・小笠原村・IB0)

(2) 飼い主のいないネコの捕獲等の状況【IB0】

○捕獲

捕獲したネコ 96 頭のうち、ノネコは 79 頭(R1 年度 67 頭)、ノラネコは 14 頭(R1 年度 3 頭)、飼いネコは 3 頭(R1 年度 2 頭)。ネコ待ちの出産仔ネコは 5 頭(R1 年度 5 頭)。詳細は次のとおり。

- ・父島山域ノネコ：51 頭(R1 年度 43 頭)【環境省】
- ・母島山域ノネコ：28 頭(R1 年度 24 頭)【環境省】
- ・父島島民保護ノラネコ：5 頭(R1 年度 1 頭)【小笠原村、環境省】
- ・母島集落域ノラネコ：7 頭(うち 1 頭死亡)(R1 年度 2 頭)【小笠原村、環境省】
- ・母島島民保護ノラネコ：2 頭【小笠原村】
- ・父島集落域飼いネコ：1 頭(R1 年度 1 頭)【環境省】
- ・母島集落域飼いネコ：2 頭(R1 年度 1 頭)【小笠原村】

○搬送：96 頭(R1 年度 66 頭)(通算：944 頭)【小笠原支庁】※R1 年度捕獲含む

- #### ○捕獲圧
- ・父島山域(一部集落)：92245 罨日(R1 年度 66573 罨日)【環境省】
 - ・母島山域：12487 罨日(R1 年度 13147 罨日)【環境省】
 - ・父島集落域：0 罨日(R1 年度 300 罨日)【小笠原村】
 - ・母島集落域：139 罨日(R1 年度 87 罨日)【小笠原村】

(3) 集落対策

○飼いネコの把握及び適正飼養の推進

→ (Ⅲ) (2) 参照

○集落内の未登録ネコの状況把握及び捕獲【小笠原村】

→母島集落内のモニタリングを実施（通年）及び捕獲（Ⅱ（2）参照）

(4) 譲渡促進等の普及啓発

○登録病院数 192 病院（3 月末時点 東獣事務局と環境省で整理）

○島内譲渡 3～7 月に実施（計 4 頭）

○普及啓発

<島内>

- ・母島小学校 5 年生校外学習・総合学習（南崎遠足）
- ・筑波大学大学院世界遺産実習でのネコ対策講義（ネコ待ち）
- ・集落周辺においてネコの出現・捕獲に関する周知 5 月（掲示板）
- ・島集落においてネコの出現・捕獲に関する周知 10 月（全戸配布・掲示板）、12 月（掲示板）
- ・世界遺産科学委員会・地域連絡会議での事業説明
- ・アカガシラカラスバト保護増殖検討会での事業説明
- ・オガサワラオオコウモリ保護増殖検討会での事業説明
- ・オガサワラカワラヒワ保全計画作り WS への資料提供
- ・父島・母島集落とその周辺においてネコ捕獲に関する周知 2 月（飼い主案内・掲示板）

<島外>

- ・雑誌ねこのきもち 10 月号に記事掲載（小笠原ネコプロジェクト）
- ・感謝状贈呈

(Ⅲ) ペット由来の外来種を生み出さないための適正飼養の推進

(1) ペットの飼養状況の把握【小笠原村・動物対処室】

表：ネコの登録状況と動物対処室及び母島獣医師受診状況

年度末時点	父島				母島 ^{※4}			
	2011年度	2017年度	2019年度	2020年度	2011年度	2017年度	2019年度	2020年度
台帳登録数	92	61	56	59	16	11	16	25
新規登録数	－	4	7	8	－	0	1	11
登録世帯数	59	44	38	39	7	6	10	17
最大多頭飼養数	13	4	4	4	4	3	4	3
マイクロチップ装着率	85%	91.8%	98.2%	94.9%	63%	90.9%	100%	100%
避妊去勢率	96%	96.7%	100%	100%	100%	100%	100%	96.0%
室内飼養率 ^{※1}	41%	83.7%	92.9%	93.2%	25%	27.3%	62.5%	80.0%
受診率(累積) ^{※2}	－	36.7%	64.3%	71.2%	－	18.2%	87.5%	88.0%
飼い主受診率(累積) ^{※2}	－	38.6%	73.7%	74.4%	－	33.3%	80.0%	82.4%
単年受診数 ^{※3}	－	26	33	42	－	2	15	14
ワクチン接種数 ^{※5}	－	－	－	24	－	－	－	5

表：イヌの登録状況と動物対処室及び母島獣医師受診状況

年度末時点	父島			母島 ^{※4}		
	2017年度	2019年度	2020年度	2017年度	2019年度	2020年度
台帳登録数	68	60	58	10	6	3
新規登録数	7	5	4	0	0	0
登録世帯数	54	49	49	10	6	3
最大多頭飼養数	7	3	3	1	1	1
マイクロチップ装着率	67.6%	58.3%	60.3%	90.0%	83.3%	100%
避妊去勢率	－	66.7%	70.7%	－	50.0%	66.7%
受診率(累積) ^{※2}	47.1%	66.7%	94.8%	80.0%	100%	100%
飼い主受診率(累積) ^{※2}	48.1%	75.5%	95.9%	80.0%	100%	100%
単年受診数 ^{※3}	36	35	56	8	5	3
ワクチン接種数 ^{※5}	－	－	19	－	－	1

※1：室内飼養は外出時にリード付きも含む

※2：台帳抹消のネコ、イヌ除く

※3：台帳抹消のネコ、イヌ含む

※4：2019、20年度は母島獣医師が診療したネコ、イヌ含む。

※5：対処室にて混合ワクチンを接種したネコ、イヌ（内地のかかりつけ医は含まない）

(2) ペットの適正飼養の推進・普及啓発等

○村民だより【小笠原村】

- ・転入者への普及啓発（５月）
- ・ペット条例特集：ペットの飼養登録等の開始のお知らせ（３月）

○戸別配布による普及啓発【小笠原村】

- ・転入者へペット条例のパンフレット配布（随時）
- ・父島集落周辺においてネコ捕獲に関する周知（５月（ポスティング・郵送）、６月（飼い主の会メーリングリスト））
- ・母島集落においてネコ捕獲に関する周知（１０月（全戸配布））

○飼い主案内の発行【小笠原村】

- ・イヌとネコ、その他のペットの飼い主に飼い主案内を郵送にて発行（８月、２月：父島・母島集落におけるネコ捕獲に関する周知も含む）

○出前授業・飼育講習【小笠原村・動物対処室】

- ・小笠原小学校１年生にチャボを用いた動物ふれあい授業を実施（１０月）
- ・小笠原小学校飼育栽培委員会（４～６年生）にチャボの飼育講習実施（１２月）
- ・母島小学校はウコッケイが死亡したため未実施

(3) ペット条例【小笠原村】

○ペットの飼養状況調査（結果は右表参照）

- ・調査票全戸配布・回収（７月）
- ・ハガキ・電話調査（９月～１１月）
- ・訪問聞き取り調査（１０月～１１月）

○広報

- ・パンフレット全戸配布、
- ・リーフレットを船待３ヶ所、ビジター、遺産センター、Ｂシップに設置。内地の観光関係団体等に配布。
- ・自然情報センターだより（第 27、28 号）
- ・村観光局「小笠原マガジン」に連載４回
- ・パネルを船待３ヶ所、遺産センター、役場環境課ロビー、動物対処室に掲示

○今後の予定

- ・島内外への広報・普及啓発の推進
- ・犬猫含めた飼い主とのコミュニケーションをとりながら、適正飼養の推進と登録台帳の管理を遂行
- ・令和３年度に審議会を立ち上げ、持込み申告体制や犬の適正飼養のあり方などを検討予定

回答状況

回答率	父島	母島	全体
93.6%			
世帯数 R2.6.16 時点	1259	285	1544
回答世帯	1171	274	1445
飼養世帯	163	22	185

飼養されているペット（イヌ、ネコ除く）

種類	個体数	世帯数
小型哺乳類 ハムスター、ウサギ、 モルモット	9	9
鳥類 インコのみ	9	3
は虫類 カメのみ	25	23
両生類 カエルのみ	6	4
水生生物 魚、貝、エビなど	多数	38
昆虫類	多数	5

動物対処室 令和2年度事業報告

動物対処室の運営を通じて、協議会の事業を推進させることを目的に、関係機関・団体それぞれが実施している事業と連携する形で、野生動物の治療や必要に応じたノネコの処置、ペット診療及び診療行為を通じた適正飼養の指導を実施した。令和2年度からは、獣医師、動物看護師、用務員（週3日）と事務局（環境課自然環境係）で運営している。

表：令和2年度の事業別実績

事業名	(Ⅰ)野生動物の保護	(Ⅱ)飼い主のいないネコ対策	(Ⅲ)ペットの適正飼養の推進
診療個体数	15個体	67個体	109個体
診療延べ回数	314回	320回	671回
(割合)	24.1%	24.5%	51.4%
平均診療回数	20.9回/個体	4.8回/個体	6.2回/個体
最大診療回数	56回/個体	52回/個体	38回/個体
診療費合計※	2,617,978円	3,619,737円	7,128,273円
(割合)	19.6%	27.1%	53.3%
平均診療費※	174,532円/個体	54,026円/個体	65,397円/個体

参考：動物対処室の事業別作業量の推移

事業名	(1)野生動物の保護	(2)飼い主のいないネコ対策	(3)ペットの適正飼養の推進
平成29年度			
診療個体数	31個体	22個体	77頭
診療延べ回数	約260回	約190回	666回
割合	23.3%	17%	59.7%
最大診療回数	86回/個体(飼育個体)	146回/個体(糖尿病個体)	42回/頭
平成30年度			
診療個体数	24個体 (うち飼育個体4個体)	53個体	76頭
診療延べ回数	194回 (うち飼育個体14回)	314回	634回
最大診療回数	57回/個体	73回/個体	42回/頭
診療費合計※	1,712,400円	2,505,241円	6,452,890円
割合	16.0%	23.5%	60.5%
令和元年度			
診療個体数	17個体 (うち飼育個体5個体)	42個体	72頭
診療延べ回数	406回 (うち飼育個体191回)	114回	716回
最大診療回数	81回/個体(飼育個体)	17回/個体	52回/頭
診療費合計※	3,013,794円	988,999円	8,190,754円
割合	24.7%	8.1%	67.2%

※平成29年度は診療回数、平成30年度からは飼い主価格をもとに作業量を比較。(Ⅰ)及び(Ⅱ)の診療費は作業量の目安として算出。

(I) 外来種による被害や人為的影響等を受ける野生動物の保護に関すること

(1) 傷病鳥獣の診療等

＜令和2年度事業計画＞

- 外来種による被害や人為的影響等を受けるなどして保護された傷病鳥獣について、必要に応じて治療を実施。主に希少種（特に個体レベルでの保護が必要な種）を対象とし、その他の種については状況に応じて治療を実施。
- 母島における応急処置については、母島の開業獣医師に委託し連携。
- 島内でのリハビリが可能な希少動物について、協議会構成団体の施設等におけるリハビリを補助。

○令和2年度に保護された107個体のうち、鳥獣保護管理員等から傷病個体の連絡や相談を受け、診療が必要と判断した個体について、動物対処室において15個体の野生動物の診察・治療を実施。飼育個体への処置は特になし。母島開業獣医師において傷病鳥獣の応急処置は特になし。

○野生復帰したオオコウモリのリハビリの際、必要に応じて補助・助言を実施。

○詳細は、次の表のとおり。過年度実績は12頁以降を参照。

表：主な野生動物の対応実績（令和2年度）

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
11 月末時点								
2020	4	14	アカガシラ カラスバト	大神山公園 うずくまり	皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温)、 糞便検査、翼洗浄・消毒	2020.4/14~19	12	2020.4/19 多摩動物 公園へ搬送
2020	7	28	オガサワラ オオコウモリ	農セン内 バナナの 繊維絡まり	血液検査、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2020.7/29~9/7	49	2020.9/8 野生復帰
2020	7	29	アカオ ネットアイ チョウ	おが丸 うずくまり	レントゲン検査、皮下点滴・ 注射、強制給餌、 ICU(入院・保温)	2020.7/29~8/1	6	2020.8/1 上野動物園 へ搬送
2020	8	12	オガサワラ ノスリ	中山峠 うずくまり	皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温)、 強制給餌、糞便検査	2020.8/12~21	14	2020.8/21 野生復帰
2020	11	12	オガサワラ オオコウモリ	西町 骨折・衰弱 (亜成獣)	皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒、 レントゲン検査、血液検査	2020.11/16~17	4	2020.11/17 上野動物園 へ搬送
2020	12	16	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ネット絡まり (妊娠♀)	レントゲン検査、 血液検査、皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2020.12/16~ 2021.2/16	56	2021.4/5 リハビリ経て 野生復帰
2020	12	21	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ネット絡まり (妊娠♀)	血液検査、皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2020.12/21~ 2021.2/16	50	2021.4/5 リハビリ経て 野生復帰
2021	1	4	アカガシラ カラスバト	旭平 うずくまり	レントゲン検査、皮下点滴・ 注射、強制給餌、包帯法、 ICU(入院・保温)	2021.1/4~10	12	2021.1/10 上野動物園 へ搬送 (1/14 死亡)

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
2021	3	12	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ネット絡まり (妊娠♀)	血液検査、皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒、爪切り	2021.3/12~4/1	28	2021.4/5 野生復帰
2021	3	12	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ネット絡まり	血液検査、皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒、爪切り	2021.3/12~30	24	2021.4/1 野生復帰
2021	3	12	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ネット絡まり	血液検査、皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒、爪切り	2021.3/12~22	11	2021.3/26 野生復帰
2021	3	13	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ハウス 迷い込み	血液検査、皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒、爪切り	2021.3/13~4/1	17	2021.4/1 野生復帰
2021	3	13	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ハウス 迷い込み	血液検査、皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒、爪切り	2021.3/13~19	8	2021.3/20 野生復帰
2021	3	13	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ハウス 迷い込み	血液検査、皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒、爪切り	2021.3/13~19	8	2021.3/20 野生復帰
2021	3	13	オガサワラ オオコウモリ	長谷 ハウス 迷い込み	血液検査、皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒、爪切り	2021.3/13~30	16	2021.4/1 野生復帰

(Ⅱ) ペット由来の外来種である飼い主のいないネコ対策に関すること

(1) 捕獲ネコへの対応

<令和2年度事業計画>

○捕獲ネコが事故等により負傷した際に、状況に応じて一次診療を実施。母島における応急処置については、母島の開業獣医師に委託し連携。

○捕獲ネコの一時飼養施設における体調管理（駆虫薬等の処方、ワクチンの接種の実施等）の技術的な補助を実施

○一時飼養施設においてネコが罹病した際に、状況に応じて一次的な診察を実施

○令和2年度に飼養施設（ネコ待合所）に滞在していたネコ108頭（ノネコ・ノラネコ103頭、出産仔ネコ5頭）のうち、担当者から連絡や相談を受け、処置・診療が必要と判断したネコ67頭について、動物対処室において一次診療を実施。母島開業獣医師において捕獲ネコの応急処置は特になし。

○捕獲時に負傷した個体や衰弱個体には、レントゲン検査、爪切り・投薬・洗浄・消毒等の各種処置、点滴、注射、内服薬処方等を実施。搬送先の病院向けの治療経過報告書を必要に応じて作成。

- 一時飼養施設における捕獲ネコの体調管理の技術的補助として、駆虫プログラム途中の糞便検査、ワクチン接種（5月までに8頭のべ9回、7月に島内譲渡予定ネコに1回。6月以降は12頭以上の多頭状態で、搬送先が2週間程度決まらない場合とする。）を実施。駆虫薬、ワクチン費用に限って環境省事業で実費負担。
- 昨年春の仔ネコのまとまった捕獲や捕獲個体のコクシジウム感染症などの処置や隔離が必要な衰弱個体が同時発生した際など、動物対処室や遺産センターの一室にて、計8個体が延べ118日間入院している。
- コクシジウム・線虫予防薬の試行を8～11月、18頭の仔ネコに実施した結果、投薬後のコクシジウム陽性率が低かったため、1.3kg以下のネコは初回の駆虫薬をミルベマックスからプロコックスに変更して対応した。
- 衰弱個体に血液検査22回や外注検査50,840円分を実施しており、ネコの管理者が検査の必要性、回数の妥当性を再検討する必要がある。

（2）島内譲渡ネコへの対応

＜令和2年度事業計画＞

- 島内譲渡が可能なネコに対して、必要な衛生検査を実施。
- 希望者に対し、譲渡講習会や面談等を実施。

- 1月にねこまちで産まれた仔ネコ4頭を対象とし、3月10～31日に希望者募集した。3名の申込みがあり、面接等（お宅訪問、面談、適正飼養講習）を実施し、5月～6月に希望者へ譲渡を実施し、動物対処室においてマイクロチップの装着と避妊・去勢手術（去勢1件、避妊2件）の施術を行った。
- 加えて、5月にねこまちで産まれた仔ネコ4頭を対象として、6月16日～7月7日に希望者募集。1名の申込みがあり、トライアル期間を経て譲渡を実施し、動物対処室においてマイクロチップの装着と去勢手術の施術を行った。

(Ⅲ) ペット由来の外来種を生み出さないための適正飼養の推進

(1) ペットの診療を通じた適正飼養指導等

<令和2年度事業計画>

○ペット診療を通じた飼養状況の把握及び指導

ペットの診療開放日時：毎週 月、水、金 8:30~11:30、13:30~16:30

処置内容：健康相談、健康診断（血液検査等）、感染症予防（ワクチン接種等）

避妊・去勢手術、マイクロチップ装着

一次診療（外用薬、内用薬の処方含む。宿泊を伴う処置は実施しない）

○母島における開業獣医師との連携

ペットの診療、飼養状況等の情報共有、必要に応じてペット診療の連携

○令和2年度は、109頭（イヌ（父56頭、母1頭）、ネコ（父42頭、母8頭）、モルモット、ハムスター（父2頭））へのペット診療を延べ671回（内訳は右グラフ参照）実施。

○初診の飼い主に対しては、マイクロチップの装着確認と装着推奨を実施。飼いネコへのマイクロチップ装着は7件、避妊・去勢手術は6件実施。母島開業獣医師による飼いネコへのマイクロチップ装着：9件、避妊・去勢手術：4件。

○飼い主受診率が70%以上あり、飼い主への定期的な適正飼養指導を実施（受診状況の詳細は協議会事業報告（Ⅲ）（1）参照）

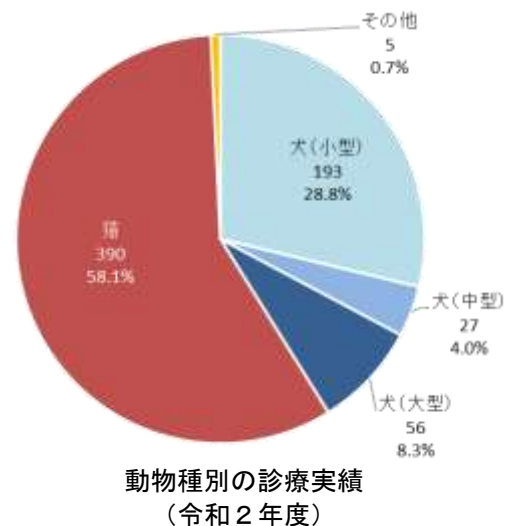
○その他の動物は、モルモット3頭、ハムスター3頭、ハリネズミ1頭、ニワトリ1羽、ウサギ1羽が受診しているが、小動物は短命なものが多いため、現在のカルテ数は3頭。

○受診したペットについては、獣医師による飼養状況の把握を行い、小笠原村に情報共有。

○診療を通じて動物対処室のペットの適正飼養の相談又は指導（飼育状況（当該動物・同居動物）の確認、飼育環境指導、食餌指導等）を実施。

○今年度の狂犬病予防接種について、集団注射で実施できなかったため、イヌの飼い主に村から案内を出し、動物対処室にて個別に実施。

○母島巡回相談・診療を再開。9月29日から10月1日（ネコ3頭、相談・訪問6件）に試験的に実施し、避妊・去勢手術を控えたネコが複数いたことから、2月20日から21日（ネコ5頭、イヌ1頭、相談1件）、3月19日から21日（ネコ3頭、イヌ1頭、相談3件）にも実施。（4月22日から24日（ネコ3頭、うち去勢手術1件）にも実施）



(Ⅳ) その他

(1) 原稿執筆等

○OWRS News Letter Vol. 86 (小笠原野生生物研究会会報第86号)

「【御礼・報告】オガサワラノスリ(幼鳥)の野生復帰」

(2) 視察・見学対応

4月：池英里先生(獣医師)

7月：シモゾノ学園国際動物専門学校(教員・学生計8名)

7月：環境省 関東地方環境事務所 野生生物課 佐藤大樹課長

12月：環境省 関東地方環境事務所 国立公園課 清野達夫自然再生企画官

(3) 関係機関・団体との情報交換

4月～：ペットの新型コロナウイルス感染症に関する情報共有(島しょ保健所小笠原出張所)

3月～：動物の治療方針、動物対処室の運営等に関する週1回程度の助言・情報交換(東京都獣医師会 高橋理事)

参考：主な野生動物の対応実績(平成29年度から令和元年度)

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
平成 29 年度以前に保護された個体、IBO 飼育個体								
2009	11	20	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体)	血液検査、糞便検査、 皮下点滴・注射	2017.11/18~21	6	2017.11/21 死亡
2009	12	31	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体) 健康診断、 元気低下	血液検査、細胞診、 皮下点滴・注射	2018.5/24 2019.7/4~1/28	26	飼育継続中
2011	9	15	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体) 健康診断	血液検査、内服薬	2019.8/1~3/27	9	飼育継続中
2012	9	27	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体) 健康診断	血液検査	2017.12/5	1	2018.2/26 死亡
2014	8	5	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体)	細菌学的検査、 皮下注射、翼膜洗浄、 外用薬塗布	2017.9/21~11/21	86	2017.12/11 死亡
2016	6	20	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体)	血液検査、皮下注射、 外用薬塗布	2017.6/23~7/20	20	2020.8/10 死亡
2016	8	25	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体) 爪の外傷	皮膚検査、外用薬塗布、 内服薬、皮下注射	2018.5/10~5/23 、 8/16~8/21 2019.10/1~3	9	飼育継続中
2017	1	4	オガサワラ オオコウモリ	(飼育個体) 翼膜の外傷	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2019.10/14~3/27	81	飼育継続中
2018	8	15	オガサワラ オオコウモリ	(IBO 産まれ 飼育個体) 翼膜の外傷	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2019.11/21~1/28	74	飼育継続中

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
平成 29 年度 下記の他、海鳥類 11 羽(シロハラミズナギドリ 2 羽、セグロミズナギドリ 1 羽、カツオドリ 2 羽、コグンカンドリ 1 羽、ハワイセグロミズナギドリ 1 羽、アナドリ 2 羽、オナガミズナギドリ 1 羽、シロオネツタイチョウ 1 羽)、その他の鳥類 10 羽を治療								
2017	4	17	オガサワラ オオコウモリ	北袋沢 キュウリネット 絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、内服薬	2017.4/18~6/1 2018.5/26	71	2018.5/27 野生復帰
2017	7	6	オガサワラ オオコウモリ	扇浦 キュウリネット 絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射	2017.7/7~13	12	2017.7/13 野生復帰
2017	8	22	アカガシラ カラスバト	大根山汚水処 理場の沈殿槽 に落下	スワブ検査、皮膚検査、 保温、皮下点滴・注射、 外部寄生虫駆除	2017.8.22	1	2017.8/23 死亡
2017	8	25	オガサワラ オオコウモリ	農セン展示園	血液検査、保温、 皮下点滴・注射、 外部寄生虫駆除	2017.8/25	1	2017.8/26 死亡
2017	9	4	コアホウドリ	父島周辺の 海上	レントゲン検査、保温、 皮下点滴・注射、 外部寄生虫駆除	2017.9/4~14	5	2017.9/15 野生復帰
2018	1	31	アカガシラ カラスバト	清瀬(若鳥)	糞便検査、強制給餌、 皮下点滴・注射、内服薬	2018.1/31~2/9	10	2018.2/19 野生復帰
平成 30 年度 下記の他、カツオドリ、アナドリ 2 羽、メダイチドリ、トラツグミを治療								
2018	5	11	オガサワラ オオコウモリ	コーヒー山 高木果樹 ネット絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射	2018.5/11~23	21	2018.5/24 野生復帰
2018	6	15	オガサワラ ノスリ	小港ロータリ ーで衰弱	皮下点滴・注射	2018.6/15~16	2	2018.6/17 死亡
2018	6	27	アカガシラ カラスバト	小学校の窓ガ ラスに衝突	死亡確認	2018.6/27	1	2018.6/27 死亡
2018	7	3	オガサワラ オオコウモリ	母島キュウリ ネット絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり	2018.7/4~7/26	33	2018.8/3 野生復帰 (母島) →2019.6.1 死亡
2018	7	3	オガサワラ オオコウモリ	母島ハウス 侵入(絡まり)	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり	2018.7/4~6	3	2018.7/7 野生復帰 (母島)
2018	7	3	オガサワラ オオコウモリ	母島ハウス 侵入(絡まり)	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり	2018.7/4~6	3	2018.7/7 野生復帰 (母島)
2018	7	3	オガサワラ オオコウモリ	母島キュウリ ネット絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり	2018.7/4~13	18	2018.7/14 野生復帰 (母島)
2018	8	8	アカガシラ カラスバト	テグス絡まり	皮下点滴・注射	2018.8/8~9	2	2018.8/9 死亡
2018	8	27	オガサワラ オオコウモリ	都道脇にて 親からの脱落	血液検査、 皮下点滴・注射	2018.8/27~29、 10/24	4	飼育継続中
2018	10	12	オガサワラ オオコウモリ	桑の木山 有刺鉄線 絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射	2018.10/12~11/27	57	2019.1/15 野生復帰

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
2018	10	22	オーストン ウミツバメ	扇浦で人工灯 誘因	皮下点滴・注射	2018.10/22	1	2019.10/24 死亡
2019	1	4	アカガシラ カラスバト	西町で人工物 衝突	皮下点滴・注射、 強制給餌	2018.1/5	2	2019.1/6 死亡
2019	1	26	オガサワラ オオコウモリ	奥村で衰弱 (幼獣)	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射	2019.1/26	1	2019.1/31 死亡
2019	1	31	オガサワラ オオコウモリ	二見港で衰弱 (亜成獣)	血液検査、 皮下点滴・注射	2019.1/31	1	2019.1/31 死亡
2019	3	16	アカガシラ カラスバト	長谷トンネル 交通事故	皮下点滴・注射、 強制給餌、ICU(入院、 保温)	2019.3/16~26	17	2019.3/26 多摩動物 公園へ搬送
2019	3	24	アカガシラ カラスバト	宮之浜道で 電線衝突	レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 ICU(入院、保温)、包帯	2019.3/24~26	5	2019.3/26 上野動物園 へ搬送
令和元年度 下記の他、メジロを治療								
2019	4	6	オガサワラ オオコウモリ	東町 テグス絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2019.4/6~7/5	44	2019.7/9 野生復帰
2019	4	6	オガサワラ オオコウモリ	北袋沢 キュウリネット 絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2019.4/6~7/8	56	2019.7/9 野生復帰
2019	5	10	オガサワラ オオコウモリ	奥村 防鳥ネット 絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2019.5/10~6/25	30	2019.7/5 野生復帰
2019	5	20	オガサワラ オオコウモリ	母島元地 ネット絡まり	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒 ※母島応急処置あり	2019.5/21~6/25	24	2019.6/29 野生復帰 (母島)
2019	6	21	オガサワラ オオコウモリ	北袋沢 ハウス 迷い込み	血液検査、外用薬塗布、 皮下点滴・注射、 翼膜洗浄・消毒	2019.6/21~7/2	7	2019.7/5 野生復帰
2019	7	4	アカガシラ カラスバト	奥村 ガラス扉内 迷い込み	糞便検査、強制給餌、 皮下点滴・注射、内服薬	2019.7/4~25	21	2019.7/27 野生復帰
2019	7	9	アカオ ネットアイ チョウ	おが丸 うずくまり	皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温)、 食餌介助	2019.7/9~26	19	2019.7/27 野生復帰
2019	7	21	アカガシラ カラスバト	大神山公園 ガラス衝突	レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 糞便検査	2019.7/21~26	6	2019.7/27 野生復帰
2019	7	29	オナガ ミズナギドリ	三日月山 うずくまり	診察	2019.7/29	1	2019.8/2 野生復帰
2019	8	9	オガサワラ ノスリ	北袋沢 うずくまり	血液検査、 皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温)	2019.8/9~12	4	2019.8/12 死亡
2019	9	7	オガサワラ オオコウモリ	西町 枝ぶらさがり	眼科検査	2019.9/7	1	2019.9/8 野生復帰